

令和5年度学校評価 中間報告（各部・分掌の取組）

重点目標

授 業 づ く り

- ・ 学習指導要領を基に教科のねらいを意識した授業づくりを行う。
- ・ 障害特性についての理解を深め、つながりのある指導・支援を行う。

安全で安心できる 環 境 づ く り

- ・ お互いの人権を尊重した環境づくりに努める。
- ・ 事故や災害における組織的な体制を整えるとともに、個々の対応力を深める。
- ・ 情報発信に努め、保護者、関係機関、地域との連携を深める。

働 き 方 の 改 善

- ・ 各種会議・委員会の目的と運営の在り方を考え、会議の質を高める。
- ・ ICTを活用した業務の効率化を図る。
- ・ 職員一人一人の生活や働き方を認め、支え合う職場づくりを進める。

各部の取組

項目	具体的方策	取組経過と今後の課題
I 授 業 づ く り	<小学部> 各教科等を合わせた指導の中で、各教科等の目標・内容を偏りなく扱っているかについて確認・検討する場を設定し、共有を図る。	・ 4月の部会で小学部教育課程編成表1表（授業時数）を示し、重要性について確認し、共有を図った。 ・ 小学部教育課程編成表1表と2表（指導形態別授業時数）、小学部の通常の学級の生活単元学習で扱っている各教科等の割合を、見える化（グラフ化）した。それを基に、学年会や部会において、確認・検討し、改善点を探っているところである。
	<中学部> 中学部で押さえるべき学習内容を把握して授業計画に反映させ、生徒の実態や評価の3観点を踏まえた授業実践を行う。	・ 中学部の教科主任会・学年会、いきジョイを通して、各教科の年間指導計画の見直しや合わせた指導における各教科の占める割合、押さえるべき学習内容の確認を進めている。後期中にまとめて、部内で共有する予定である。検討の過程で部の教育課程の見直しも同時に進めていく。 ・ 生徒の主体的な取組を引き出す授業づくりについては、多くの職員の教員評価の目標としても取り上げられており、個人、学年グループを中心に進められている。部会で順次取組の発表を行って共有している。
	<高等部> 令和6年度の教育課程メジャーバージョンアップに向けて、部全体でカリキュラム・マネジメントを進める。	・ 令和6年度からの授業時間50分28コマ案の実現に向けて、高等部職員で授業時間や指導内容、指導体制の見直しを進めている。また、教務主任を中心に高等部の取組を学校全体に共有し課題解決に努めた。後期は、時間割の試行を中心に課題を一つ一つ解決し次年度に備えていく。

<p><施設内学級> 個々の特性を理解し、個に合わせて柔軟に対応しながら授業を実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特に生活単元学習では、様々な教科を学習できるように活動内容を検討し行っている。日常生活の指導の時間や自立活動の時間も含め、教科に偏りがないように取り組んでいる。 ・児童の実態やその日の体調に合わせて、活動の取り組み方を工夫して行っている。教師間で常に児童のことについて話し合いをし、授業では児童の反応を見ながら、教材や活動内容の改善に努めている。 ・医師や看護師だけでなく、リハビリ見学を通して理学療法士や言語療法士とも連携を図っている。リハビリで取り組んでいる内容を参考に授業にも取り入れて行っている。また児童との関わり方で配慮する点を教えていただき、児童が安心して授業を受けることができるようにしている。
<p><教務部> 授業づくりを支える教務関係様式の活用方法や個々の職員に期待したいカリキュラム・マネジメントの方向性を示し、授業力の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度の早い段階で教務関係書類書き方講習会を今年度も新転任者対象と各部職員向けの2回実施し、特に個別の指導計画を中心とする授業づくりのためのカリキュラム・マネジメントの方向性について周知を図った。多忙な時期であるため、後日必要なときに各自が確認できるようにした。 ・教務関係書類の作成・活用に関わる情報を、昨年度まで学年主任に配布していた紙媒体ではなく、みよしねっとや Teams を利用して、どの職員も閲覧しやすいようにした。 ・部会において議題の少ないときを利用し、各部の教育課程編成について理解を図り、カリキュラム・マネジメントの意識を高めるようにしていきたい。
<p><研修部> 「いきジョイ（校内研究）」に全校で取り組み、育成を目指す三つの資質・能力を踏まえた授業づくり（教科別指導）について全教員で共に考え、学び合う中で、授業力の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で縦割りのチームを編成し、学習指導要領に沿った各教科の授業づくりについて共に考える研究に取り組んでいる。 ・夏季研修会では、外部講師による「特別支援教育におけるカリキュラム・マネジメント」の研修を実施した。研修を通して、学習指導要領の内容に触れながら、カリキュラム・マネジメントについての理解を深めるとともに、自校の教育課程について考え直す機会となった。研修会や校内研究での学びを日々の授業実践につなげていくことができるよう、今後も学習指導要領への理解と活用を進めていく。また、今年度で3年計画の研究を終えるため、次年度からは新しいテーマでの研究となる。新テーマ設定や校内研究の枠組み、構成などについて検討していく。
<p><保健体育部> 食育を推進し、望ましい食生活の育成のために、啓発活動を行い、つながりある支援を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全校児童生徒対象に食に関する実態調査を行い、食事場面における課題を集約した。 ・保護者への啓発活動の一環として、新小1及び転入生の保護者へ給食試食会を開催し、学校給食及び食生活に関する意見交換や支援方法の情報提供を行った。
<p><自立活動部> 児童生徒の発達段階とその特性に合わせた支援方法についての理解を広げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回選択研修会では「子どもたちの手を育てる～発達の理解と感覚や動きへのアプローチ～」というテーマで作業療法士による専門的な研修を行った。手の機能の発達段階や器用に動く手を育てるための支援方法について理解を深めることができた。 ・今後は自立活動だよりや自立活動相談報告などを通して、より具体的な支援方法などを紹介していきたい。
<p><教育支援部> 児童生徒の支援において、関係機関との連携を図り、障害特性に応じた支援方法を提案する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7月に豊田市こども発達センターとの相談会を実施し、臨床心理士から具体的な支援方法を学ぶことができた。得た知識を Teams や掲示板を通して校内全職員にも情報提供した。 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーは現在各1回ずつ活用し、関係機関との支援会議で助言をいただいた。校内に情報発信をし、活用を増やしていきたい。 ・教育支援部選択研修を年3回計画し、現在までに2回実施できた。そのうち1回は豊田市強度行動障がい専門支援員派遣事業の訪問型全体研修を活用した。校内職員に向けて強度行動障害についての理解や支援方法の周知を図っている。 ・引き続き、相談しやすい体制をつくり、関係機関との連携を図っていきたい。

2 安全で安心できる環境づくり	<p><小学部> 児童も職員も安心して笑顔で過ごすことができるように、気兼ねなく発言や行動ができる環境をつくらせたり、成長につながる適切な関わり方を学ぶ機会を設けたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部会等で、働き方の合言葉「笑顔で、無理せず、前向きに」を折に触れて発信している。 ・児童全員が5時間目で下校する金曜日の6時間目を会議設定しない自己裁量の時間として設定した。職員が自分の仕事ができる時間になっている。 ・行事に際して、部会や Teams で適切な関わり方を発信し共有を図った。今後、学年会や部会等で、成長につながる適切な関わり方について、情報提供・共有したり、振り返ったりする機会を設けていく。
	<p><中学部> 学習環境を整え、生徒の活動や部の取組を発信する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部会では毎回人権に配慮した指導・支援についての注意喚起を投げかけている。各学年グループで適切な言葉がけや雰囲気づくりに取り組んでいるが、個々の先生方の意識も高まってきている。 ・夏季休業中には、各教室、教材室の整理、サーバー内のフォルダー整理を進めた。 ・教育支援部を中心に検討の必要な生徒のケース会議、支援会議を迅速に実施している。部全体の生徒情報の共有は資料閲覧で行っている。 ・学習や活動の様子をホームページにコメントとともにあげ始めた。後期にはもっと充実させていく予定である。
	<p><教育情報部> ホームページで、学校の取組を継続的に発信し、必要な情報が得られるホームページとしてのイメージを高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の取組を発信する「学校生活」のコーナーを週1程度の頻度で更新することができた。更新の手順に慣れることで、徐々に更新頻度を上げたり、内容の幅を広げたりしていきたい。ホームページ内の情報が充実してきていることが感じられる。
	<p><生活指導部> 緊急時における対応について、職員間の共通理解を深め、とるべき行動がとれるようにしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新たに教職員による避難訓練や、警察に協力を仰いだ不審者対応訓練を行った。新たな取組の中から見えてきた課題については確認し、今後計画している訓練の中で検証していきたい。また今後の取組の中で個々の教員の行動の在り方や、学校としての対応の在り方を構築したいと考えている。
	<p><進路指導部> 教員や保護者に向けて、進路に関する発達段階に応じた情報を提供する。</p>	<p><小学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に行う「小学部保護者研修会」の中で、保護者に向けて「小学部における進路」を進路担当から話をし、高等部卒業後の進路について、写真などの資料を交えて知らせ、小学部で身に付けるとよい力について伝えることで、保護者の進路に対する知識を深め、不安に伝えるようにする。 <p><中学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に中学部3年生の保護者対象に行った進路説明会では、高等部の教育課程・目標および進路指導について説明を行った。6月に中学部1年生保護者対象に行った進路情報連絡会では、保護者に卒業後の進路先について考え始めてほしいことを伝え、福祉サービス事業所の特色等を説明した。進路選択については、本人も含めた家族で話し合いを行うように伝えた。 <p><高等部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けの進路の手引きは、進路に関する用語説明を記載した。「卒業後の進路先」については外国籍の方向けに翻訳したものを作成した。他校の進路の手引き等を参考とし、本校に合った教員用の手引きを作成中である。
	<p><保健体育部> 校内の破損箇所や不要物を洗い出し、撤去・改善を図り、安全で安心して学校生活を送れる環境づくりを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視を行い、校内の破損箇所や不要物の確認を行い、一覧表の作成を行った。 ・優先順位を決め、順次不要物の撤去を行っている。また、校内巡視を定期的に行い、破損箇所がないか確認をしていく。
	<p><教育支援部> ニーズに応じたサポートや情報発信を進め、地域との協働体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度実施した小・中学校、高等学校のアンケート結果をもとに、ニーズに応じた夏季研修を2回行い、特別支援教育の理解を深めたり相談に答えたりすることができた。内1回は、例年高等学校職員のみ対象で行っていたが、今年度は中学校と高等学校の教員向けという研修を行い、系統性を踏まえた内容を提供できた。子ども発達相談においても、ニーズを収集し、引き続きニーズに応じたサポートを行っていきたい。

3 働き方の改善	<高等部> 円滑で適切な意思決定のできる会議や情報共有を行う。	・部会を中心に会議の流れや起案などを通した学校の意思決定の流れを共通理解した。円滑で深い審議を行うための仕組みづくりは、道半ばであるため、後期に取り組みたい。
	<総務部> 職員室内のロッカー等の整理整頓を行い、物の位置や表示等を改善するとともに ICT を活用した業務の効率化を図る。	・職員室内のロッカー等の整理整頓しているところである。また、必要な文書や物品がサーバー上で確認できるようにしている途中である。
	<教務部> 行事等実施後に次年度の計画の素案を作成し、次年度の係に引き継げるようにする。	・現時点で実施済みの行事等については、反省だけでなく改善点を踏まえた素案を作成して、校務部会で提案し、次年度に引き継げるようにしている。年内の行事等についても、同様に進めていきたい。 ・2月以降の行事等（入学説明会、修了式等）については、校務部会での提案ができないと考えられるので、反省等から改善点を明確化し、次年度への引継ぎを図りたい。
	<研修部> 個々の教員の働き方に合った研修を受けられる環境を整える。	・年度当初や夏季休業中の研修会において、研修会の様子を Teams 上で情報発信し、学校全体で学びの共有を図った。今後は、Teams 内のデータの整理を行い、必要な情報を分かりやすく共有できる環境づくりを進めていく。
	<教育情報部> 校内サーバーの整備及びデータの整理を進めて、必要な情報を利用しやすい環境づくりを行う。 ICT 機器や Teams の利用の定着を図り、学校全体の ICT の利用を促進する。	・校内サーバー内のデータの整理を進め、保存期間の切れたデータの削除を行うことで、円滑に必要なデータのバックアップを行うことができた。重要なデータの保存のために、不要なデータの整理を職員全員に呼び掛けて進めていきたい。 ・Teams を通した情報提供により、さらに便利な ICT 機器の利用促進が進んでいる。
	<自立活動部> 自立活動に有効な動画を発信し、業務の効率化を図る。	・自立活動に有効な動画を Teams で発信し、共有することができた。第4回選択研修会「自活教材教具の紹介」でそれらの動画を紹介することができた。 ・今後は職員からも動画を募り、学校全体でそれらを共有していきたい。また、業務の効率化を図ることができたかも検証していきたい。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に応じ、教科のねらいを意識した授業づくりを行う。 ・お互いの人権を尊重しつつ、一人一人が自分事として考えた安全で安心な環境づくりと支援を行う。 ・会議や委員会の質を高め、無駄をなくし職員の働き方の改善につなげる。 	